

令和5年度第1回競技委員会

2023年6月9日(金) トークネットホール仙台

出席者 安藤、恒松、松本、大槻、渡部、瀬田川、漆間、和田、豊田、戸口、笹田、下野、中村

齋藤、福澤、佐藤（以上北海道）、野本、仁部（以上佐賀）

○部長挨拶（諸江、リモート参加）

○令和5年度全国高校総体室蘭大会（齋藤）

・競技日程は昨年度同様。用具検査等対応で役員向け7時30分開場。

・「違反と罰則」昨年度のものを使用。

第一グループ0.5無意欲に関して、1回目Pイエロー、2回目Pレッド、3回目Pブラックに（日本協会が既に適用しているもの）

・式典関係 表彰授与者は地元優先で（足りないものは全国高体連から）

・開会式「室ガス文化センター」、学校毎の座席は指定せず地区毎の割り振りのみ。

・開会式壇上レイアウト確認

・表彰式の並び順を表彰台に合わせた。

・会場図 スタジオBの12審判控え室と13役員(地元)控え室を入れ替え（出入りに近い方を審判に）、パーティションでしっかりと区切って欲しい。

・7多目的室壁面に用具棚設置（8に追加）。23スタジオには置かせない。観客席には荷物は置かない。棚または練習会場に置いて帰る。ブロック割りすると足りなくなるブロックがある可能性があるのでブロック割りはしない。

・競技役員席周辺のPCとプリンタはひな壇側に。

・部旗は本部側には置かない。アクリル板より下に掲示するよう、ヒモを用意する様指示。

・用具検査合格ゴム印は5個（十分足りる）

・練習会場 2周り目の選手の練習もメインアリーナ可（混んでいたらサブに移動するはず）。

・武揚体育館は全員記名、室蘭工業は確認中。利用者名簿はダウンロード形式にして事前に作成して提出。

・ワイヤレス審判器・リールでも栗林商会アリーナ内練習会場①②は使用不可。

・役員編成 事務局次長 山田・外村（競技開始後合流）、技術委員 渡部

ピスト指導員 瀬田川・田部井・安海・國金・原川・熊谷

・検温・消毒不要、マスク手洗い励行

・プログラム編成会議 諸江、安藤、恒松、松本、和田、大槻、豊田、漆間、下野、笹田、渡部追加（取り纏め大槻）

・審判員は笹田を通して6月末迄に調整

・次大会への送付物 掲示板は佐賀、それ以外は島原へ。

・宿泊関係 登別（700人予定）からの移動には直行路線バスの増便で対応（片道740円）

の予定)、登別駅～登別温泉は車で約 10 分。

・登別温泉での朝食は 7 時からとの回答あり。夕飯を遅らせる対応も交渉中。

→朝食 6 時 30 分からをリクエスト。それに伴いバスの時間変更、夕飯時間の対応。

6 時 35 分のバスを 7 時 25 分の増便に出来ないか+開始時間 1 時間遅れで対応するか

→回答後再検討

・役員航空機利用の場合、領収書と半券または類するものが必要 → 要確認

JR 利用の場合は行程表を出せば領収書不要。

延泊分は室蘭なら問題ないが、それ以外の泊だと旅費が出せない。

・旅費は振り込みで対応（振り込みも振り込み）。

・プログラム編成会議の宿泊の確認を。

・プログラム印刷締め切りは 7 月 12 日を予定（資格審査が間に合わない可能性もある）

○令和 5 年度全国選抜大会（笹田）

・各種目一日完結のタイムテーブルに変更したい。

・監督会議 9 時、開会式→試合開始とし、技術委員会を前日に実施（全国高体連了解済）、全国委員会も可能ではないか。

→ 夏の常任委員会で確認、

・3 年後の 50 回記念大会も是非実施したい。

○令和 6 年度全国高校総体（野本・仁部）

・会場佐賀アリーナ（今年 5 月竣工）、佐賀駅徒歩 15 分、バスは 15 分に 1 本程度。

・要項は香川大会のものを参考にして作成。

・7 引率・監督の項 申し合わせ事項の 17 の参照事項を訂正。

・複数校合同チーム大会参加の項を追加、ただしフェンシング専門部は認めていないので適用されない。

・参加資格に関する事項は全国高体連共通の文言はそのまま。

・参加申込書は現在メール添付だが、セキュリティの問題で県が認めない場合は CDR 等の記録媒体を使用しても良いとする。

・振込口座、プログラム編成会議は未定（日程のみ決定）

・コロナ感染症関連の文言は今後が見通せないのものでそのまま。

・プログラム編成会議が 6 月 27 日(木)なので申込締切日を 5 日早めて 6 月 14 日(金)に早める（資格審査が間に合わない）。→各都道府県に早めに伝えて予選日程を決めてもらう。「外部指導者が引率責任者を兼ねる場合…」は間違い？(コロナ対応?)→「部活動指導員が…」に修正。

・校長が委嘱をすることで他校の教員が引率・監督することを認めている県がある。部活指導員の証明は現状では提出された書類のみ。判断は専門部に任せられている。

・参加申込の部活指導員証明書の部分、「外部指導者が引率責任者を兼ねる場合は…」削除。

部活動指導員は複数高の監督を兼ねられる。これは各県共通（個人戦のみ）

（外部指導者は県によって対応が異なる）

・17 申し合わせ事項 オ 選手変更 けがまたは病気の場合は診断書の提出、その他の事情の場合は校長の承認を得ることで可能に。

・用具検査のスケジュールは北海道の様子を見てから提案（漆間）。文言を規約規定集に合わせる。

・会場図 決勝ピスト含めて11ピスト、コンクリート床面にポータブルフロア設置。DT受付と記帳台は本部の脇に移動。

・本部ステージを縮小(4m)、その分決勝ピストを広くする + 決勝ピストを2つに（視察で確認）

・天井モニター6面には組み合わせ、進行を映す。映像は最小限に。

・看護師の派遣は高体連の斡旋でも地元からでも構わない。

・開会式の演出は時間短縮も考えて計画を。

・宿泊は佐賀市内で収まらない可能性もある。役員宿舎「グラウンデはがくれ」。

○競技について（松本）

2 服装・用具について

・ストッキング → ソックス

・棄権の対応も掲載

・選抜大会のものもインターハイに合わせて改訂。

・サーブル800Nグローブは「用具検査基準」にあるので削除、他も同様（ないものは残す）。

・DT受付 → DT

・先に「競技について」を修正、後追いで規約規定集を修正。

・「競技について」「監督のみなさんへ」の合体版をウェブ掲載。

○その他

・トランスジェンダーの問題

今年既に女子が男子で登録している。日本協会は登録を「前向きに考える」との見解。高体連、日本協会とも連携して考える。とりあえず日本協会に検討をお願いする。今年も認める方向で。高体連は静観するしかない。FIEでは戸籍上の性別で。ただしローカルな大会はその土地の判断に任せる。

・東京都からエリートアカデミーの選手出場（女子サーブル） → 東京は3枠
シード選手の確認は松本先生

- ・全国選抜男子サーブルの男子法政二が全日本辞退 → 黒石に打診
- ・フェイスガードは廃止、試合後の握手は復活
 - コロナ対応の措置は全て廃止。ウェブに掲載、監督会議でも周知徹底。
- ・全日本推薦出場権を持っていて予選に出ても良いのか？
 - ブロックの大会が全日本の予選を兼ねるか否かによる。ブロック大会に全日本の出場権を持っているからと言って出られないというのはおかしい。単なる「全日本予選」という試合なら出場権を持っていたら出るべきではない。
- ・個人戦同種目の監督は兼ねられる（団体は不可）。